

2026 年 1 月 16 日

踏切と～まれ！

「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間中は、駅コンコース等で「踏切手前では早めのブレーキと確実な一旦停止」、「万が一踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めてまず脱出」、また「車が動かなくなった時には非常ボタンや発炎筒等で列車を止める」等の適切な措置を呼びかけます。



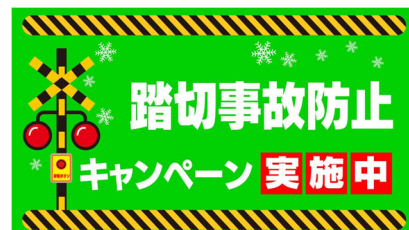
《今年度冬の踏切キャンペーンの様子》

■実施期間

2026 年 1 月 21 日(水)から 1 月 30 日(金)までの 10 日間

■実施内容

- ・ 駅構内でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 駅コンコース等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 列車内での車内放送や特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ ラジオ放送による踏切キャンペーンの告知とCMによる踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問して呼びかけ



<本年度冬期(12月以降)の踏切事故発生状況>

本年度 12 月以降(1 月 15 日現在)踏切障害事故は 1 件(12 月 19 日)発生しています。過去 5 年間に発生した踏切障害事故の 60%は路面状況が厳しくなる冬期間に発生しています。

冬の道路は、吹雪による視界不良やアイスバーンの影響ですべりやすくなっています。車がスリップして止まりきれず踏切に進出し、列車と衝突する「冬型事故」の発生が懸念されます。

踏切事故を防ぐため、「踏切手前では早めのブレーキと確実な一旦停止」を呼びかけてまいります。